

令和6年度 施策評価シート

施策の名称	VI-2-(1) スポーツの振興	幹事 部局	環境生活部
施策の目的	<p>県民一人ひとりが、それぞれの興味・目的に応じ、スポーツに様々な形で参加し、楽しく健康で生き生きと暮らせる社会をつくれます。</p>		
施策の現状に対する評価	<p><u>①(生涯スポーツ、地域におけるスポーツ文化の推進)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツに取り組む人の割合は前年度より4.7ポイント上昇したが、年代でばらつきがある。スポーツに親しむ機会の提供や情報発信を通じて、生涯スポーツの更なる意識づけが必要である。 総合型地域スポーツクラブ数は維持されているが、資金や人材の確保など運営に課題を持っているクラブがある。しまね広域スポーツセンターと連携した既存クラブの活性化が課題である。 <p><u>②(競技スポーツの推進、学校体育の充実)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島国体(R5)の結果は総合順位46位、入賞競技数15競技であり、競技力向上基本計画における育成期(R3~R5)の目標(30位台、入賞18競技)に届いていない。競技力向上に向けては、指導者を確保し、競技活動ができる環境を整え、選手を確保・育成していくことが必要であるが、多くの競技において、選手・指導者の確保・育成が十分に進んでいない。 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果、子どもの体力は向上傾向がみられるが、運動習慣のない子どもの割合が高まっており、スポーツへの関心を高めていくことが必要である。 島根かみあり国スポ・全スポの認知度と機運を高めるため、新たに選手・監督等の紹介用ウェブサイトを開示した。一方、「しまねwebモニター」調査における認知度は53.0%にとどまっており、県民への認知度を高めていく必要がある。 <p><u>(前年度の評価後に見直した点)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 少年選手の競技を継続できる環境整備のため、中学校に部活動がない未普及競技のクラブ創立・運営支援制度を設けた。また、有力選手の県外流出防止・県外からの確保のため、中学在学時に全国大会等で優秀な成績を収めた高校生の競技活動支援制度を設けた。 		
今後の取組の方向性	<p><u>①(生涯スポーツ、地域におけるスポーツ文化の推進)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 健康福祉部と連携し、健康づくりの観点からスポーツの普及啓発を行う。また、県スポ・レク祭の開催や県立体育施設での教室等の開催など、県民がスポーツに気軽に親しむことができる機会の提供を通じて、継続的な運動習慣の定着につなげる。 しまね広域スポーツセンターと連携し、総合型地域スポーツクラブに向けた各種研修会や訪問等を行い、クラブの組織運営や指導者の育成を支援する。また、県HPや広報媒体を活用し、総合型地域スポーツクラブのPRを行う。 <p><u>②(競技スポーツの推進、学校体育の充実)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 少年選手の確保に向け、小学生については、競技体験会やスポーツ教室等の開催を通じて競技に触れる機会を増やしていく。中学生については、部活動や社会体育で活動の場がない未普及競技を中心に競技を継続できる環境を整備する。また、高校生については、競技活動支援制度により、有望選手の県外流出防止と県外からの確保を進めていく。 成年選手、指導者については、県内企業等への就職支援の強化や、ふるさと選手登録の促進により確保を進めていく。 子どもたちが体を動かすことを楽しめるよう、運動遊びや体育の授業を工夫し、運動意欲を高めていく。 島根かみあり国スポ・全スポの愛称・スローガン、マスコットキャラクターを活用した広報を継続するとともに、新たに大会のイメージソングの制作や、SNS等による情報発信を行うことで、県民の機運醸成を図る。 		

事務事業の一覧

施策の名称		VI-2-(1) スポーツの振興				
	事務事業の名称	目的		前年度の 事業費 (千円)	今年度の 事業費 (千円)	所管課名
		誰(何)を対象として	どういう状態を目指すのか			
1	生涯スポーツ推進事業	県民	それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じ、生涯を通じてスポーツを楽しむ。	30,319	32,512	スポーツ振興課
2	国民スポーツ大会競技力向上対策事業	島根県スポーツ協会、各競技団体及び高校等に所属する選手、指導者並びに関係者	2030年に開催を予定している島根かみあり国スポでの天皇杯・皇后杯の獲得に向けて、各競技の競技力向上を図る。	381,133	807,386	スポーツ振興課
3	県立体育施設管理運営事業	県民	施設の利便性を高め、施設利用者を増やすことにより、スポーツの普及を図る。	386,628	399,130	スポーツ振興課
4	国民スポーツ大会開催準備事業	県民、市町村、スポーツ関係団体、競技団体など	県民と一体となった大会の円滑な運営	43,317	95,390	島根かみあり国スポ・全スポ準備室
5	国民スポーツ大会競技施設整備事業	国民スポーツ大会の競技会場となる施設	2030年の国民スポーツ大会に向けて、各競技が円滑に実施できるよう、競技施設基準に基づき、各競技会場の整備等を行う。	89,551	198,954	島根かみあり国スポ・全スポ準備室
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課	スポーツ振興課
-----	---------

事務事業の名称		生涯スポーツ推進事業			
目的	誰(何)を対象として	県民	事業費 (千円)	令和5年度の実績額	令和6年度の当初予算額
	どのような状態を目指すのか	それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じ、生涯を通じてスポーツを楽しむ。		30,319	32,512
			うち一般財源 (千円)	27,859	29,412
令和6年度の取組内容	①広域スポーツセンターの運営、総合型地域スポーツクラブの活動支援、人材育成のための研修会等の実施 ②島根県スポ・レク祭、種目別大会及びスポレク広場の開催など、体を動かすことを楽しむ場の提供 ③総合型地域スポーツクラブ、放課後児童クラブ等の地域団体と連携し、軽スポーツ、レクリエーション活動に親しむ機会の提供 ④県民がスサノオマジックや地元スポーツチームと触れ合える機会の提供 ⑤スポーツ推進審議会において島根県スポーツ推進計画の取組状況の審議 ⑥スポーツ振興における顕著な功績、優秀な成績をあげた個人及び団体を表彰				
令和5年度に行った評価を踏まえて見直したこと	スポーツ関連表彰の選考委員会をまとめて行うこととした。				
1	上位の施策	VI-2-(1) スポーツの振興	3	上位の施策	
2	上位の施策	IV-1-(2) 地域で活躍する人づくり	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	スポーツに取り組んでいる人の割合【当該年度8月時点】	目標値		41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	%	単年度値
		実績値	39.0	38.0	38.8	37.6	42.3			
		達成率	—	92.7	92.4	87.5	96.2	—		
2	総合型地域スポーツクラブ数【当該年度3月時点】	目標値		32.0	32.0	33.0	33.0	34.0	クラブ	累計値
		実績値	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0			
		達成率	—	103.2	103.2	100.0	100.0	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実	R5島根県政世論調査:運動に取り組んでいると回答した割合(カッコ内はR4) ①性別 【男性】44.7% 【女性】41.4% (41.5%) (34.3%) ②年代別 【20代】54.7% 【30代】25.0% 【40代】36.9% 【50代】40.5% 【60代】41.3% 【70以上】48.5% (32.2%) (39.0%) (31.1%) (33.0%) (41.8%) (42.5%)									

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに取り組んでいる人の割合は前年度から4.7ポイント上昇 ・総合型地域スポーツクラブ数は増減なしであったが、休止するクラブがあった ・島根県スポーツ・レクリエーション祭への参加人数は、前年を上回り、コロナ禍以前の水準に戻りつつある
課題分析	①課題	<ul style="list-style-type: none"> ・男性より女性、また、30~40代の世代において、スポーツに取り組んでいる割合が少ない傾向にある ・総合型地域スポーツクラブの中には、事務局体制の維持や自主財源の確保等に苦慮している団体がある
	②原因	<ul style="list-style-type: none"> ・運動への関心はあるものの、ワークライフバランスの中にスポーツを取り入れられていない ・総合型地域スポーツクラブの人材育成・確保がうまくいっておらず、地域によっては会員数や自主財源の減少に繋がっている
	③方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・県スポーツ協会、県レクリエーション協会、県障害者スポーツ協会、各競技団体等と連携し、スポーツ・レクリエーション祭や県立体育施設でのイベント・スポーツ教室の開催などを通じて、スポーツに気軽に親しむ機会を提供する ・健康福祉部と連携し、健康づくりの観点からもスポーツへの取組の普及啓発を行う ・県スポーツ協会に設置する「しまね広域スポーツセンター」を中心に、各種研修会の実施や訪問活動などを通じて総合型地域スポーツクラブの組織運営や指導者の育成を支援する ・HPや各種広報媒体を活用し、総合型地域スポーツクラブの認知度向上を図る

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課	スポーツ振興課
-----	---------

事務事業の名称		国民スポーツ大会競技力向上対策事業			
目的	誰(何)を対象として	島根県スポーツ協会、各競技団体及び高校等に所属する選手、指導者並びに関係者	事業費 (千円)	令和5年度の実績額	令和6年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	2030年に開催を予定している島根かみあり国スポでの天皇杯・皇后杯の獲得に向けて、各競技の競技力向上を図る。		うち一般財源 (千円)	381,133
令和6年度の取組内容	県競技力向上対策本部により、以下の4つの柱のもと、競技力向上に向けた取組を実施 ①組織体制の整備・充実 ②選手の発掘・育成・強化 ③指導者の養成・資質の向上 ④競技力向上のための環境整備を実施				
令和5年度に行った評価を踏まえて見直したこと	・少年選手の競技を継続できる環境整備のため、中学校に部活動がない未普及競技のクラブ創立・運営を支援 ・有望選手の県外流出防止と県外からの確保のため、中学在学時に全国大会等で優秀な成績を収めた高校生の競技活動費及び寮費等を支援				
1	上位の施策	VI-2-(1) スポーツの振興	3	上位の施策	
2	上位の施策	IV-1-(2) 地域で活躍する人づくり	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	国民体育大会選手派遣数【前年度1月～当該年度12月】	目標値		320.0	320.0	351.0	382.0	413.0	人	単年度値
		実績値	319.0	14.0	2.0	336.0	330.0			
		達成率	—	4.4	0.7	95.8	86.4	—		
2	国民体育大会年間入賞競技数【前年度1月～当該年度12月】	目標値		15.0	16.0	17.0	18.0	19.0	競技	単年度値
		実績値	14.0	0.0	0.0	10.0	15.0			
		達成率	—	—	—	58.9	83.4	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		●国民体育大会の総合成績 天皇杯得点 天皇杯順位 皇后杯得点 皇后杯順位 入賞競技・種目数 R4 680点 43位 452.5点 41位 10競技24種目 R5 630.5点 46位 387.5点 46位 15競技27種目 増減 ▲49.5点 ▲3位 ▲65点 ▲5位 5競技3種目								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	国民体育大会の順位は前年度より下がったが、前年度より入賞競技・種目数は5競技・3種目数増加した。
課題分析	①課題	「目的」達成のため(又は達成した状態を維持するために支障となっている点)
	②原因	競技力向上に向けては、指導者を確保し、競技活動ができる環境を整え、選手を確保・育成していく必要があるが、多くの競技において、選手・指導者の確保・育成が十分に進んでいない。
	③方向性	・競技人口が少ない競技において、小学生が競技に触れ、取り掛かる機会が少ない。 ・中学校に部活動が無く、社会体育の場も無い未普及競技において、中学校への進学を機に競技転向する傾向がある。 ・中学在学時に全国大会等で優秀な成績を収めた選手が、県外の強豪高校への進学により流出している。 ・県内出身の有望な選手が、県外へ就職・進学した以降の関係性の維持ができていない。 ・高校卒業により県外へ進学・就職したのち、県内で成年選手の競技活動ができる環境が少ないため、県内に戻らず競技環境の整った県外で競技を継続したり、県内に戻っても競技を止めてしまう実態がある。 ・競技体験会やスポーツ教室の開催等による競技に触れる機会を拡充。 ・運動能力が優れた小学生をアスリートキッズとして認定し、国スポ競技の選手として育成。 ・未普及競技の選手確保のため、中学校に部活動がない競技のクラブ創立・運営を支援。 ・有望な選手の県外流出防止を図るため、高校在学中における競技活動を支援。 ・SNS等を活用した県外へ進学・就職した選手との関係性の維持、ふるさと選手登録の促進。 ・選手、指導者の県内企業等への就職支援の強化。 ・成年選手の競技活動の場の確保のため、企業が主体となる成年チームの創設を支援。

事務事業評価シートの別紙

事務事業の名称	国民スポーツ大会競技力向上対策事業
---------	-------------------

「上位の施策」が5以上ある場合のみ記載

5	上位の施策	
6	上位の施策	
7	上位の施策	
8	上位の施策	

「KPI」が3以上ある場合のみ記載

	KPIの名称	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上
										分類
3	全国中学校体育大会・全国高等学校総合体育大会等の年間入賞種目数【当該年度4月～3月】	目標値	55.0	58.0	62.0	66.0	70.0	種目	%	単年度 値
		実績値	53.0	6.0	48.0	70.0	62.0			
		達成率	—	11.0	82.8	113.0	94.0			
4		目標値							%	
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
5		目標値							%	
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
6		目標値							%	
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
7		目標値							%	
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
8		目標値							%	
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
9		目標値							%	
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
10		目標値							%	
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

スポーツ振興課

事務事業の名称		県立体育施設管理運営事業			
目的	誰(何)を対象として	県民	事業費 (千円)	令和5年度の実績額	令和6年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	施設の利便性を高め、施設利用者を増やすことにより、スポーツの普及を図る。		386,628	399,130
令和6年度の取組内容		①利用者に配慮した施設管理及び利用者ニーズに対応したスポーツ教室等の企画運営を行う ②利用者が安全・安心に利用できる施設とするため、各施設に必要な整備を行う (県立体育施設の管理は、公益財団法人島根県スポーツ協会が指定管理者として業務を行っている)			
令和5年度に行った評価を踏まえて見直したこと					
1	上位の施策	VI-2-(1) スポーツの振興	3	上位の施策	
2	上位の施策		4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	県立体育施設を利用した利用者数【当該年度4月～3月】	目標値		300,000.0	200,000.0	300,000.0	300,000.0	300,000.0	人	単年度値
		実績値	281,331.0	172,768.0	215,482.0	209,421.0	248,246.0			
		達成率	—	57.6	107.8	69.9	82.8	—		
2		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		武道館 石見武道館 水泳プール 体育館 サッカー場 5施設計 R1 48,771人 31,203人 100,166人 78,925人 22,266人 281,331人 R4 41,142人 22,520人 69,758人 66,529人 9,472人 209,421人 R5 47,657人 26,867人 82,251人 76,314人 15,157人 248,246人 (※R4サッカー場は8～3月工事により閉場)								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	・県民が気軽にスポーツに親しむ場を提供するため、各施設においてスポーツ教室やイベントを実施 ・利用者が快適に施設を利用できるよう、トイレの洋式化等改修を実施
課題分析	① 課題	「目的」達成のため(又は達成した状態を維持するために)支障となっている点
	② 原因	上記①(課題)が発生している原因
	③ 方向性	上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性
		・新型コロナウイルス感染症の5類移行により、各体育施設の利用者数は前年より増えているが、コロナ禍前の水準に戻りきれていない ・貸切利用者はコロナ禍前の水準に戻つつあるが、個人利用者が戻り切れていない (R5/R1 貸切利用者95.2%、個人利用者78.4%) ・指定管理者と連携し、魅力ある教室やイベントの開催等利用者が増える取組を実施するとともに、各種広報媒体により周知を図る ・引き続き利用者が安心・安全に使える施設となるよう計画的な修繕等を実施

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

島根かみあり国スポ・全スポ準備室

事務事業の名称		国民スポーツ大会開催準備事業				
目的	誰(何)を対象として	県民、市町村、スポーツ関係団体、競技団体など	事業費 (千円)	令和5年度の実績額	令和6年度の当初予算額	
	どういった状態を目指すのか	県民と一体となった大会の円滑な運営		43,317	95,390	
			うち一般財源 (千円)	37,998	0	
令和6年度の取組内容	令和12年開催の国民スポーツ大会(国スポ)・全国障害者スポーツ大会(全スポ)の開催準備を着実に進める。 ・イメージソングの制作や、マスコットキャラクター等を活用した広報活動 ・中央競技団体正規視察(正式競技・特別競技38の会場現地視察) ・会場地市町村の選定(国スポ:公開競技、デモンストレーションスポーツ、全スポ:正式競技) ・国スポ・全スポの競技役員等養成に向けた取組を支援 ・聴覚障害のある選手等に対し、手話・要約筆記等により情報を提供するためのボランティアを養成					
令和5年度に行った評価を踏まえて見直したこと	・大会の認知度を向上するため、大会の愛称・スローガン、マスコットキャラクターを活用した広報活動を引き続き行うとともに、イメージソングの制作を行う。 ・手話通訳・要約筆記等のサークルの活動実態調査などを行う。					
1	上位の施策	Ⅵ-2-(1) スポーツの振興	3	上位の施策		
2	上位の施策	Ⅳ-1-(2) 地域で活躍する人づくり	4	上位の施策		

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	国民体育大会選手派遣数【前年度1月～当該年度12月】	目標値		320.0	320.0	351.0	382.0	413.0	人	単年度値
		実績値	319.0	14.0	2.0	336.0	330.0			
		達成率	—	4.4	0.7	95.8	86.4	—		
2	国民体育大会年間入賞競技数【前年度1月～当該年度12月】	目標値		15.0	16.0	17.0	18.0	19.0	競技	単年度値
		実績値	14.0	0.0	0.0	10.0	15.0			
		達成率	—	—	—	58.9	83.4	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		[KPIの1, 2の補足] R2, 3年の国体本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期又は中止。選手派遣数は冬季大会の実績。年間入賞種目数は国体を除く中学生と高校生の全国大会の実績。 [参考となるデータ]「しまねwebモニター」調査において、本県で令和12年に、国スポ・全スポが開催されることを、国スポのみ知っている、全スポのみ知っている、どちらも知っている、と回答した人の割合は、令和6年1月調査において53.0%であった。(令和5年1月調査においては47.8%で、昨年対比5.2%の上昇。)今後も、認知度に関する調査を継続。								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	・大会認知度を向上させるため、大会の愛称・スローガン、マスコットキャラクターを活用した広報活動を強化したほか、選手・監督等の紹介用WEBサイトを公開した。 ・競技役員等に関する基礎調査(38競技45種目)を競技団体に対して実施のうえ、国スポの運営に必要な競技役員等の年度別養成計画を作成し、不足する競技役員等の状況を把握するとともに、養成を促進するための支援を実施した。 ・令和6年3月に準備委員会常任委員会を開催し、全国障害者スポーツ大会14競技のうち10競技の会場地市町村を選定した。
課題分析	① 課題	・大会開催の認知度が高いとはいえないため、県民一体となって取り組むための理解を高める必要がある。 ・国スポ・全スポの競技運営に必要な県内の競技役員等が不足している。 ・大会運営のサポートを行う手話通訳・要約筆記等の情報支援ボランティアについては、確保目標数600人に対し、資格保持者等スキルのある方が少ない状況である。
	② 原因	・効果的な広報活動が不足している。 ・競技団体が国スポ・全スポの競技運営に必要な競技役員数及び不足する役員数を十分に把握できていない。また、競技団体において競技運営に必要な資格の保持・取得するための予算が不足している。 ・情報支援ボランティアについて、手話通訳・要約筆記等のサークル等の活動実態が把握できていない、また、養成講座等の開催に向けた体制整備ができていない。
	③ 方向性	・大会の愛称・スローガン、マスコットキャラクターを活用した広報を継続するとともに、新たに大会のイメージソングの制作や、SNS等による情報発信を行うことで、県民の機運醸成を図る。 ・競技団体に対して競技役員等に関する基礎調査を行い、必要となる役員等の年次別養成計画を作成してもらい、その計画に基づき、競技団体が行う競技役員等の養成等の取組に対し支援を行い、計画的な役員養成を促進する。 ・情報支援ボランティアについて、市町村や市町村社会福祉協議会等に対して、手話通訳・要約筆記等のサークルの活動実態調査を行う。また、先催県の養成講座の実施方法等を把握するため、先催県視察等を実施する。

事務事業評価シートの別紙

事務事業の名称	国民スポーツ大会開催準備事業
---------	----------------

「上位の施策」が5以上ある場合のみ記載

5	上位の施策	
6	上位の施策	
7	上位の施策	
8	上位の施策	

「KPI」が3以上ある場合のみ記載

	KPIの名称	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上
										分類
3	全国中学校体育大会・全国高等学校総合体育大会等の年間入賞種目数【当該年度4月～3月】	目標値	55.0	58.0	62.0	66.0	70.0	種目	%	単年度 値
		実績値	53.0	6.0	48.0	70.0	62.0			
		達成率	—	11.0	82.8	113.0	94.0			
4		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
5		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
6		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
7		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
8		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
9		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
10		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

島根かみあり国スポ・全スポ準備室

事務事業の名称		国民スポーツ大会競技施設整備事業			
目的	誰(何)を対象として	国民スポーツ大会の競技会場となる施設	事業費 (千円)	令和5年度の実績額	令和6年度の当初予算額
	どうい状態を目指すのか	2030年の国民スポーツ大会に向けて、各競技が円滑に実施できるよう、競技施設基準に基づき、各競技会場の整備等を行う。		89,551	198,954
令和6年度の取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・県立プール等、大会競技会場となる県有施設の整備にむけた調査等を行う。 ・県ライフル射撃場を改修・整備するため、実施設計を行う。 ・各市町村が行う競技施設の整備事業に要する経費の一部を支援する。 			
令和5年度に行った評価を踏まえて見直したこと					
1	上位の施策	VI-2-(1) スポーツの振興	3	上位の施策	
2	上位の施策	IV-1-(2) 地域で活躍する人づくり	4	上位の施策	
うち一般財源 (千円)			10,663		83,854

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上 分類
1	国民体育大会選手派遣数【前年度1月～当該年度12月】	目標値		320.0	320.0	351.0	382.0	413.0	人	単年度 値
		実績値	319.0	14.0	2.0	336.0	330.0			
		達成率	—	4.4	0.7	95.8	86.4	—	%	
2	国民体育大会年間入賞競技数【前年度1月～当該年度12月】	目標値		15.0	16.0	17.0	18.0	19.0	競技	単年度 値
		実績値	14.0	0.0	0.0	10.0	15.0			
		達成率	—	—	—	58.9	83.4	—	%	
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実										

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	・令和4年度、令和5年度の市町村への支援により、美郷町のカヌー競技施設の整備が進捗した。
課題分析	① 課題	・施設整備費について、人件費や資材費の高騰等により、予算規模が膨らむことが想定される。
	② 原因	・上記①(課題)が発生している原因 ・世界情勢の不安定等に伴う資材費の高騰等
	③ 方向性	・令和6年度に全38競技の中央競技団体が、全ての競技施設の現地確認を行い、改修等が必要な箇所を指摘することになっており、この指摘を踏まえて対応を検討し、計画的な整備に努めていく。

事務事業評価シートの別紙

事務事業の名称	国民スポーツ大会競技施設整備事業
---------	------------------

「上位の施策」が5以上ある場合のみ記載

5	上位の施策	
6	上位の施策	
7	上位の施策	
8	上位の施策	

「KPI」が3以上ある場合のみ記載

	KPIの名称	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上
										分類
3	全国中学校体育大会・全国高等学校総合体育大会等の年間入賞種目数【当該年度4月～3月】	目標値	55.0	58.0	62.0	66.0	70.0	種目	%	単年度 値
		実績値	53.0	6.0	48.0	70.0	62.0			
		達成率	—	11.0	82.8	113.0	94.0			
4		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
5		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
6		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
7		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
8		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
9		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			
10		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—			